



市議会 だより



題字：中央幼稚園 つちや あきら さん



忙しいあなたに贈る！
 ほぼ3分でわかる

11月定例会議 ダイジェスト

11月26日～
 12月23日



一般質問：22人が登壇
 議案：市長提出 24件
 議員提出 5件
 議案質疑：
 10議案に延べ25人
 討論：5議案に延べ5人

議案
 第59号

一般会計補正予算(第7号)



主要事業



本庁舎管理事業

723万円

・外壁検査結果を踏まえ、タイル修繕のための外壁改修設計と、防火シャッターの改修を行う。

小学校維持管理事業

2億9371万8千円

・老朽化した自家用電気工作物の改修工事を行う。

個人番号通知書・個人番号カード交付事業

237万3千円

・マイナンバーカードの申請増加に対応するため、市内全郵便局(11局)に申請支援業務を委託する。



学校給食運営事業

0円※

・給食米の価格高騰に伴い、学校給食費の公費負担額を引き上げる。

※既に確保している予算内で対応可能なため、新たな財源(補正予算)は必要なし

議案
 第73号

一般会計補正予算(第8号)



主要事業

国の補正予算が12月16日に成立したことを受け、久喜市議会では12月23日、国からの交付金の使い道を審議しました!

「くらし応援商品券」配付事業

8億4542万円

(うち国の負担が7億6087万8千円)

・物価高騰支援・地域経済活性化のため、市民1人につき5,000円の商品券を郵送。(郵送料 約3200万円) ※配付は令和8年2月下旬～3月下旬頃

子育て応援手当給付事業

4億4749万6千円

(全額国の負担)

・子育て世帯への物価高騰支援として、18歳以下の市民1人につき20,000円を給付。 ※給付は令和8年3月～5月頃

子育て世帯元気応援給付金給付事業

1億750万円

(うち国の負担が1億212万5千円)

・子育て世帯への物価高騰支援として、18歳以下の市民1人につき5,000円を給付。 ※給付は令和8年3月～5月頃



住宅等防犯対策補助事業

1011万円

(うち国の負担が960万4千円)

・防犯・安全対策の強化として、個人住宅向けの防犯機器等設置費用を補助。1世帯につき上限10,000円を交付。 ※申請は令和8年3月16日から

その他の主な議案



議案第63号 地域交流センター条例を廃止する条例

議案第66号 久喜市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

・子ども・子育て支援法の規定に基づき、特定乳児等通園支援事業者の運営基準を定める。

令和7年11月定例会議 ピックアップ！

議案第59号 一般会計補正予算(第7号)

本庁舎管理事業



議員

外壁改修工事設計業務委託料の補正の内容は。

スケジュールは。

外壁の全面打診検査でタイルの浮きなどが確認されたため、その修繕を行う工事の設計費用。

設計業務を令和8年9月までに完了し、令和9年度末までに工事の完了を想定している。



タイル張りの本庁舎外壁



久喜市



議員

防火シャッター改修工事の補正の内容は。

工事内容と来庁者への影響は。

工事のスケジュールは。

建築基準法第12条に基づく点検で是正が必要とされた防火シャッターについて、改修工事を行う。

2階の吹き抜けに設置している防火シャッター1ヵ所、2枚を交換する工事。来庁者には一部迂回をお願いします。

令和8年3月に着工し、7月頃完了予定。



防火シャッターが設置されている吹き抜け部分



久喜市

個人番号通知書・個人番号カード交付事業



議員

マイナンバーカードの新規及び更新申請の支援業務を郵便局に委託する効果の見込みは。

委託期間と、郵便局での受付時間は。

写真撮影から申請までを郵便局でできるようになることで、市民サービスの向上が図られると考える。

期間は令和8年3月1日～31日。受付時間は9時～16時を予定。
※菖蒲郵便局のみ昼休止あり



久喜市

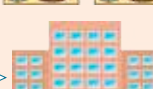
学校給食費補助



議員

米の価格高騰で、給食費の金額がどの程度上昇したのか。

1食あたり小学校で5円、中学校で8円上昇しており、全額を公費で負担する。(令和7年11月～令和8年3月)



久喜市

議案第63号 久喜市立地域交流センター条例を廃止する条例



議員

今後のスケジュールを伺う。

令和8年4月1日以降の利用について、予約受付を令和8年1月1日に停止し、3月末日をもって廃止する。令和8年夏頃から解体工事に着手。



地域交流センター



久喜市

議案第73号 一般会計補正予算(第8号)



住宅等防犯対策補助事業

市内戸建て住宅又は共同住宅に居住している世帯の世帯主を対象に、防犯・安全対策を強化するため、個人宅向け防犯機器等の購入・設置費用に対し、補助金を交付する。1世帯につき上限10,000円。

■補助対象となる防犯機器等

防犯カメラ、防犯フィルム、人感センサーライト、モニター付きインターホン、防犯砂利、防犯性の高い錠又は補助錠、センサーアラーム、詐欺被害を防止する機能が付いた電話機器



議員

申請期間は。

3月16日から。詳細はホームページ等により周知していく。

申請方法は。

電子申請、窓口提出または郵送。



久喜市



※詳細はQRコードから市ホームページをご覧ください。

令和7年11月定例会議 提出議案とその結果

○…賛成 ×…反対 ▲…除斥 △…欠席 ※議長は採決に加わらないため「-」で表示

付託委員会 (総)…総務常任委員会 (福)…福祉健康常任委員会 (建)…建設上下水道常任委員会 (予)…予算決算常任委員会

提出区分	議題番号	議案の内容	久喜みらいの会										公明党 久喜市議団				市民の政治を 進める会			日本共産党 久喜市議団		無党派		結果			
			樋口 智洋	奈良 政宏	瀬川 泰祐	榎本 英明	川内 鴻輝	成田ルミ子	園部 茂雄	香山 千明	大谷 和子	新井 兼	上條 哲弘	岡崎 克巳	丹野 郁夫	山田 正義	大橋きよみ	斉藤 広子	川辺 美信	猪股 和雄	田村 栄子	渡辺 昌代	杉野 修		宮崎 亜希	瀬田 博文	貴志 信智
市長	66号	未就園の0歳6ヶ月～3歳未満児を対象とした、新設の通園支援事業における運営・安全基準を定める条例(福)	○	△	○	△	○	○	△	○	△	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
	80号	久喜市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例	○	△	○	△	○	○	△	○	△	○	一	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	可決
議員	意見7号	軍事費(防衛費)のGDP比2パーセントへの増額は行わず、平和な国づくり・外交を進めることを求める意見書	×	△	×	△	×	×	△	×	△	×	一	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	否決
	意見9号	パレスチナを国家承認し、ジェノサイドの早期終結に力を尽くすよう求める意見書	×	△	×	△	×	×	△	×	△	×	一	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	否決

全員賛成で可決・同意となった議案

市長提出議案

- 59号 令和7年度一般会計補正予算(第7号)公共施設管理・マイナカード対応・給食費支援等(予)
- 60号 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)(福)
- 61号 令和7年度介護保険特別会計補正予算(第3号)(福)
- 62号 令和7年度水道事業会計補正予算(第3号)(建)
- 63号 地域交流センター条例を廃止する条例(総)
- 64号 鷺宮東コミュニティセンター(さくら)の会議室を放課後児童クラブ等へ転用するためコミュニティセンター条例の一部を改正する条例(総)
- 65号 保育所等の健康診断を受診できなかった場合に、市の乳幼児健康診断の結果を提出することで、受診したものと同みなすことができるよう改正する条例(福)

- 67号 特定教育・保育施設等重大事故検証委員会条例に、幼稚園と乳幼児等通園支援事業所を加える(福)
- 68号 災害等の非常時における給排水設備工事の特例を定めるため、水道給水条例及び下水道条例の一部を改正する条例(建)
- 69号 久喜・菖蒲・栗橋文化会館の指定管理者を(株)ケイミックスパブリックビジネスとする(総)
- 70号 つばめクラブ他18の放課後児童クラブの指定管理者を(一社)久喜市学童保育運営協議会とする(福)
- 71号 くりっ子放課後児童クラブの指定管理者をくりっ子放課後児童クラブ父母会とする(福)
- 72号 しずか学童クラブの指定管理者を特定非営利活動法人ほほえみ放課後児童クラブとする(福)
- 73号 令和7年度一般会計補正予算(第8号)商品券配付事業、物価高騰に直面する子育て世帯への応援、住宅等防犯対策補助事業

- 74号 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- 75号 令和7年度介護保険特別会計補正予算(第4号)
- 76号 令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 77号 令和7年度土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
- 78号 令和7年度水道事業会計補正予算(第4号)
- 79号 令和7年度下水道事業会計補正予算(第2号)
- 81号 一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 82号 人権擁護委員の推薦 いしがき しょうじゅん 石垣 正順氏

議員提出議案

- 1号 久喜市議会ハラスメント防止条例
- 意見8号 放送法の改正を求める意見書
- 意見10号 非核三原則の堅持を求める意見書

議案に対する討論

59号 令和7年度一般会計補正予算(第7号)

【賛成】郵便局でのマイナンバーカード申請支援は、利用見込み件数が少なく、窓口混雑の緩和効果は限定的。申請は郵便局でもカードの受取が市役所では利便性が高いと言えます、都城市の事例を参考に受取方法の改善が必要。

(宮崎議員)

63号 地域交流センター条例を廃止する条例

【賛成】今回の除却は、複数の代替施設があることから、やむを得ないと考えますが「高齢者の通いの場」を安易に減らすべきではない。今後

は、介護予防の視点に加え、免許返納者や徒歩移動が困難な方にも配慮した判断を求める。(宮崎議員)

66号 未就園の0歳6ヶ月～3歳未満児を対象とした、新設の通園支援事業における運営・安全基準を定める条例

【反対】目的「子どもの健やかな成長の環境確保」には同感だが、利用定員が事業所任せ、数時間で子どもの心身状況・養育環境を把握させる、保育士の資格は半分で良い、などは保育士への責任とストレス、事務負担が懸念である。(渡辺議員)

73号 令和7年度一般会計補正予算(第8号)

【賛成】公明党の要望した商品券の配布などが多く実現された点を高

く評価する。中でも防犯対策物品購入への補助事業は、市民負担の軽減と犯罪を未然に防ぐ予防型防犯を後押しする極めて意義ある施策であると確信し賛成する。

(山田議員)

80号 久喜市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例

【反対】市長・副市長や議員の期末手当を0.05か月分引き上げる提案だが、県内では特別職の期末手当を据え置いている市もある。年間支給額の引き上げは市民の意見を聞くべきだが、市の特別職報酬審議会の意見も聞いていない。

(猪股議員)

建設中

久喜市初の義務教育学校

鷺宮西小中学校 新校舎に行ってみた

4月の開校と共に使用が始まる新校舎を広報委員が取材しました。特色溢れる鷺宮西小中学校の新校舎を紹介します！



児童生徒も使用できるエレベーター

市内でも珍しい給食用以外でも使えるエレベーター！



壁材は県内産、床材は国産の木材を使用！

木目を活かしたデザイン



雨でも濡れない広々ピロティ

昇降口と学童保育の出入口に屋根を設置。ピロティは幅広い活用が可能！



充実のグラウンド設備

バックネットには神宮球場でも使用されているラバー材を使用！



4基のナイター照明も完備！



一般質問 皆さんの声を議会へ!



4日間で22名が登壇

紙面の都合で一般質問は要約を掲載しています。記事は600字または660字(写真の枚数によって異なる)以内に質問した議員本人がまとめています。

議会をネットで見よう!

本会議・一般質問をインターネットで、ライブ及び録画配信しています。

久喜市議会 中継

検索



QRコードを読み取ると議会中継にいけます!

QRコードから録画映像へGO!



掲載記事の議員写真横にあるQRコードから録画映像を是非ご視聴ください。

介護ボランティアの仕組みづくりの施策は

A 早急に対応を検討していく必要を認識

齊藤 広子 議員

公明党久喜市議団

Q 地域資源を掘り起こして介護人材不足の解消や高齢者の社会参加、孤独、孤立防止を推進する取組の「スケッター※」の導入の検討を行うのか。

A 国の補助金の活用を踏まえて、きちんとした組立を検討していきたい。



民生委員、児童委員が活躍できる環境整備

Q 民生委員は、本来生活の中で気づき、つながり、支える福祉のアンテナとしての機能をする存在であり、その柔軟性と機動力こそが本来の強みである。業務の整理と役割の再定義を行い、民生委員が本来の力を発揮できる体制に見直すべきではないか、市の見解を伺う。

A それぞれの依頼内容について、改めて担当部署による精査を行い、他の対応方法がないか検討するなど、民生委員の負担軽減につなげていきたいと考えている。

持続可能な地域構築のシティプロモーションへ

Q 住民参加型のイベントや地域資源を生かしたストーリー発信等、行政主導から市民協働への転換を図ることが求められている。今後どのような取組を進めていくのか伺う。

A 市民の皆様が感じた地域の魅力や日常のストーリーを多様な視点で発信できるよう、参画しやすい仕組みの構築に向けて取り組んでいきたいと考えている。

ごみ集積所整備費等補助制度の手続の簡素化

Q 本制度の手続の煩雑さについて、市として現状をどのように認識しているか。

A 令和7年度に補助金等の交付に関する規則を改正、現在は簡素化した交付手続となっている。



スケッター

…介護福祉施設と地域住民をマッチングするスキルシェアサービス。資格や経験がなくても、介護施設での身体介助以外の「お手伝い」を通じて、地域住民が有償ボランティアとして関われる点が特徴。

開発指導要綱を見直し、防犯灯の設置強化を



瀬川 泰祐 議員

久喜みらいの会

Q 新興住宅街の一带で防犯灯の設置が進まず、地域の安全に影響しているところがある。防犯灯の設置はどのように運用しているのか。

A 防犯灯の設置要望は毎年度、行政区長に取りまとめをお願いしている。

Q 新興住宅街では、引っ越したばかりで自治会に加入していない世帯も多く、相談先もわからないことが想像される。市民の方が直接市に相談しても「行政区長を通すように」と案内されてしまい、実質的に手続が進まない状況もあると聞く。この状況をどう解消するのか。

A 今後も行政区長からの要望を基に現地調査を行い、必要な箇所に設置していく。

Q 「久喜市開発行為等指導要綱」およびその細則を確認したが、防犯灯に関する記載はあるものの義務化はされていない。義務化している自治体もある。本市も指導要綱や運用の見直しを行い、開発事業者に設置をお願いしてはどうか。

A 現行の開発指導要綱では、開発者は防犯灯を含む交通安全施設の整備促進に「努める」とされ、担当課と協議することが定められている。しかし実態として、開発者による設置が十分進んでいない。現在の表現を、より設置を確実にするように改めることは可能で、担当課と協議・検討する。



〔要望〕 先日は、南栗橋地区で7件の窃盗事件があったが、防犯灯は地域の安全を守る公共インフラである。新興住宅街の一带に防犯灯が設置されないような事態が生じぬよう、早急に基準や運用の見直しを要望する。

個人の防犯対策用品に補助金制度創設を

A 各世帯向けの補助金制度創設を検討する

山田 正義 議員

公明党久喜市議団



Q 市内で住宅侵入窃盗被害が多発した。市民一人ひとりの防犯力を高めるため、個人の防犯用品の購入に対し、補助金制度を検討してはどうか。

A 現時点では防犯カメラなどの設置の補助金制度の実施は予定していないが、引き続き警察や地域と連携し、防犯体制の充実に努めるとともに他自治体の実施状況や効果を調査研究していく。

Q 多数の市民から「不安」「怖い」といった声が届いている。防犯カメラなどへの補助を希望される方がいることを見過ごすことはできない。市長に伺いたい。「市民の生命や財産を災害、事故などから守るのが市長の責務である。」と言われている市長として、これらの市民の声をどのように



考えているのかお聞かせ願いたい。

A **〔市長〕** 多くの市民の皆様からのご心配の声を頂いたのも事実。各世帯で設置をしていくような防犯対策用品、カメラに限らず、防犯対策全般ということに対しても、犯罪が起きにくい環境を整備していくことが重要であると考えているところである。地域における防犯体制の充実にために防犯、安全対策強化を早急に図っていくという必要性を感じている。そのため、各世帯で設置する防犯カメラ等の普及対策について補助金制度の創設を検討する。

火災被災者への支援について

Q 火災被災者の一時避難場所として春日部市のようにホテルなどと協定し居住支援をしては。

A 被災者の不安を解消するには大変有効であるとする。今後本市の対応方策について検討する。

〔その他の質問〕 ◇公共交通について◇道路の拡幅

スケートボード場等の整備計画の動向は

A 遅れるが、計画の施設整備は着実に進める

春山 千明 議員

久喜みらいの会



Q 運動公園に隣接する産業廃棄物を撤去するという事から令和5年に改訂された総合運動公園の整備計画(スケートボード場整備等)に遅れが生じている。いつ産業廃棄物は撤去されるのか伺う。

A 土砂の撤去は令和9年6月に完了の見込み。

Q 土砂の撤去後、計画はどう進んでいくのか。

A 土砂撤去開始後、計画の整備スケジュールを見直し、土砂撤去完了後は順次整備を進めていくが、土砂撤去が大幅に遅れる場合は工区の見直し、計画の早期実現に向けた検討を行う必要がある。

Q 計画では令和7年度にスケートボード場や3×3バスケットボール場が整備されるという予定だったが、大幅に遅れることになった。期待をしていた市民に対し説明責任を果たし、計画を実現に近づけていくという決意を表明してほしい。

A 遅れている現状をお知らせする。計画の施設は必ず実現できるよう尽力していく。

はつらつ運動教室*は参加者やリーダーの声聞いて

Q 参加者やリーダーからの意見や要望を把握し運営に反映し有用な事業をさらに発展させるべき。

A 市職員が定期的に全ての会場を訪問し、参加者やリーダーの声を伺って運営に反映していく。

枯れた緩衝緑地帯の松は伐採等対応を

Q 枯れた樹木は田植え等、近隣田畑に影響が無いよう伐採を進めるべき。

A 当該緩衝緑地帯の松、78本中76本が、松くい虫により枯れてしまった。現在16本を伐採、残る60本は今後伐採し76本全てを年度内に伐採する。

その他の質問 ◇環境課が旗振り役となり全庁を挙げてクビアカツヤカミキリから桜を守るべき



久喜市はつらつ体操

今後の栗橋中央コミュニティセンター

奈良 政宏 議員

久喜みらいの会



Q 現在の栗橋中央コミュニティセンターは市民の大切な活動場所であり利用率も高い。今後建設予定の防災公園管理棟や新行政センター完成まで利用することとなったが、栗橋中央コミセンは老朽化しており、耐震性の有無が問題となっている。耐震化についての考えを伺う。

A 多額の工事費用や工事期間を考えると耐震化は、現実的ではない。

Q 耐震化しないととなると、今後の利用について考えを伺う。

A 利用者の安全を第一に考えると、防災公園管理棟、新栗橋行政センターが出来るまで、栗



栗橋中央コミュニティセンター

橋地区内の健康福祉センターや栗橋保健センターの会議室などを代替施設として利用していただくことを検討している。

Q 代替施設だけでは、賄いきれない可能性もある。また、栗橋中央コミュニティセンター敷地から代替施設まで約2キロあることから、今の施設内での対応を、との声も伺っている。今後、様々な声が上がると思うが、どのような対応をとっていくのか、市の考えを伺う。

A 耐震化については、現実的でないとし申し上げた。新行政センター完成も先になることで、利用者に不便をかけてはいけなと考えている。新行政センターが10年くらいの間に出来ると考えると、現在の敷地内に耐震化より安い、プレハブを建てて、利用していくのも一つの案として検討している。

その他の質問 ◇久喜市高柳地区産業団地について◇栗橋駅東まちづくりについて

公園の遊具は地域の声を聞いて交換すべき

A 今後は地域の意向を確認して進める

大橋 きよみ 議員

公明党久喜市議団



Q 公園の老朽化した遊具の交換の際には、地域の年齢構成や利用状況、住民の要望を踏まえて、健康遊具の設置など地域の実態に応じた対応を。

A 久喜市公園施設長寿命化計画に基づいて更新作業をしているが、今後は利用状況や地域の年齢層を踏まえ遊具の種類も地元の意向を確認し対応。

久喜北小学校正門前の道路整備を

Q 久喜北小学校正門前の住宅街の歩道は、街路樹の根上がりがあり歩きづらい。整備すべき。

A 順次根上がり解消のための工事を実施する。

Q 市道久喜4339号線は、道路の盛り上がりやひび割れが広範囲にあり、年々ひどくなっている。整備について伺う。



北小正門近く・市道久喜4339号線

A まずは応急的な補修を行った上で、改めてさらなる工事と手法について検討する。

砂利道の砂利の種類の改善を求める

Q 現在本市が使用している砂利は評判がよくない。市民が安心して外へ出かけ、日常的に散歩する環境を整えることは、健康寿命の延伸につながり、結果として医療費の削減という行政メリットも大きいはず。安全性の高い細かい砂利の計画的な購入、導入を進める考えがあるか伺う。

A 昨年9月より粒度調整碎石を購入している。改善を図っていけるように対処する。

多胎（双子・三つ子）育児支援の拡大を

Q 多胎児家庭への支援を増やすべき。

A ホームスタート事業の回数は柔軟に対応する。ファミリーサポートは「外出同行支援」を追加し、保育所の事前相談会の参加についても検討する。

その他の質問 ◇男女共同参画社会実現の取り組みを◇RSウイルスワクチンの定期接種化

債券等の運用で、より効率的な公金管理※を

丹野 郁夫 議員

公明党久喜市議団



Q 国会で政府系ファンドが議論され、その運用益を国民福祉に還元する制度として話題となった。現在、市の公金管理運用と預金利率の状況は。

A 定期・普通預金に計40億円を分散管理し、年0.4%程の利率。また、政府保証債を2億円買入し、昨年度は59万円の利益を得た。公金管理基準に基づき、確実な管理と効率的な運用をしている。

Q 金利変動や為替変動への対策は。

A 利率の動向を注視し、指定金融機関から見積りを取り、より有利な利率に借換え等を実施。

Q インフレや円安傾向から円の価値は下落し、数年前は1万円で購入できた品物が、現在は購入できなくなった。低金利の預金や元金保証等では将来的に一定のリスクを含む。リスクを分散し、外貨預金や債権運用を検討する余地はあるのでは。

A 債券(ESG債)の運用については今後検討する。

ごみ処理事業の持続可能な運営を

Q 近年の労務費・物価高騰により、ごみ処理事

業者は安定的な事業継続に不安を抱えている。国の通知では、最低賃金や土木工事労務単価等を参考とするよう求めており、各々4.9%、6%前後の上昇がみられ、現場との実態に乖離が生じている。市は適切な価格転嫁を遂行するよう求める。

A 労務単価等の上昇分を考慮し、平均3%程増の委託料とした。今後も適切な料金設定に努める。

鷺宮西小中学校の安全な通学路を

Q 開校を迎えるにあたり通学路の安全対策は。

A 準備委員会でご意見を頂いた危険箇所の対策を進めている。川越栗橋線のクランク状交差点は、県が来年度に工事着工を目指していると確認した。



公金管理

…国や地方公共団体が保有する税金や手数料などの公金を、安全かつ効率的に保管・運用すること。具体的に、歳計現金、歳入歳出外現金、基金などの種類があり、これらを金融機関への預金や債券などで管理する。

令和7年の米生産について 高温障害やカメムシ被害は

渡辺 昌代 議員

日本共産党久喜市議団

Q 昨年は高温障害・カメムシ大量発生で米の等級が下がり、収穫量が減り、米不足や価格高騰となった。今年の①主食米の収穫量、②加工米・飼料米の生産高、③「彩のかがやき・彩のきずな」の生産状況、「にじのきらめき」の普及状況、④カメムシ駆除に対する補助の申請と実績はどうであったか。

A ①～③米の検査は年末まで行われるので数値は示せない。④現在集計中。

Q 数値が出ないのはおかしい。農協からは、埼玉県産米が14万8千トンで+1万2千トン、やや不良米、菖蒲では規格外の米が増え『彩のかがやき』だと聞いている。農薬の空中散布も菖蒲では14件から113件、久喜地区8件から54件に増えたが、虫食いで被害は出ていると伺った。しっかり中間でも数字を捉え、高温障害やカメムシ対策、食糧自給率向上、後継者問題を国・県に要望すべき。

A 機会を捉え要望していきたい。

新ごみ処理施設稼働による周辺の渋滞解消と整備

Q 新ごみ処理施設・余熱利用施設稼働による県道12号線、清久さくら通りの渋滞解消は。

A 交通渋滞が発生しないよう適切に対応する。

Q 周辺の用水路、清久公園付近の道路の除草、剪定がされていない。改善を。

A 剪定、除草は準備が整い次第行う。

Q 備前堀川起点はフェンスで歩行が困難だ。何度も指摘しているが、橋を架け安全対策を。

A 改善が必要と認識し、県に要望している。

その他の質問 ◇部落解放に取り組む運動団体の使途不明金◇久喜中央・青葉コミセンのトイレを洋式化へ◇しずか館跡地活用・まちづくり



清久工業団地周辺地域の用水路の雑草

市長の新築は慎重にすべきだった

A 開発、農転申請は特に問題なかった

杉野 修 議員

日本共産党久喜市議団

Q 10月17日付の東京新聞では、梅田市長は今年2月、親族所有の土地に自宅を新築。この際、地目が農地から宅地に変更され、土地が市街化調整区域にあったため、農地法の転用許可と都市計画法の開発許可が必要であり、どちらも申請し許可されていた。しかし市長は7、8年前から市内にあるマンションに家族と暮らしており、市長自身、記者に「実家以外に住宅があると分かったと許可されない恐れがあった」と説明している。この報道内容は何ら問題がなかったとするのか、一部問題があったとするのか、市の認識を伺う。

A おおむね事実が書かれていると認識している。しかし、所有するマンションは市長のものではなく、役員をしている会社名義のものであり、そのこと自体は許可審査に影響を与えるものではない。

Q 報道の、「実家以外に住宅があると分かったと許可されない恐れがあった」というのは、事実か。

A **市長** 一般論をお話ししたもので、私には該

当しないと認識している。

Q 問題はなかったとするなら、考え方などを市民にメッセージとして発する考えはあるか。

A 私の考え方を広く発信できるよう努めたい。

J R東鷲宮駅西口に公衆トイレの設置を

Q これまで何度もトイレの設置を要望してきた。駅利用者や周辺住民からの設置要望は相変わらず強いと感じている。どういう検討をしてきたのか。

A 令和4年度、駅東側にトイレを設置した。西口は設置を検討してきたが、広場に面する土地は駐車場や店舗であるため、設置は難しい。

要望 地権者や区長とも相談するよう要望する。



東鷲宮駅西口広場の全景

女性トイレの数の不平等の改善に向けて

A 来年発表、国交省の指針を元に具体化する

瀬田 博文 議員

無会派



Q 最近もさいたまスーパーアリーナで問題が発生し、ニュースになったが、公共スペースにおける女性トイレのあり方について、これまで長蛇の列が放置されてきたが、行政としてジェンダー平等の観点から、どのように捉え市内行政施設において工夫があったのか。そして全国的な実例を把握しているのか。今後の施設設計に反映するのかを伺う。

A 市内での混雑は把握していないが、他の自治体・公共施設での問題については把握し



さいたまスーパーアリーナ

ている。今後、建設予定の施設では、国土交通省で策定中のガイドラインの内容などを踏まえ、トイレの利便性に男女の格差が生じることのないよう対応していく。

市内公共施設廃止の告知や実施方法にはまだ工夫する余地がある

Q 市内の公共施設やインフラ設備など、将来の閉鎖・廃止へ向けて、市民への周知・理解推進の方法において、市としてこれまでに蓄積された成功例・失敗例を検証し、また他自治体の先進事例を踏まえ、今一段の工夫についての考えを伺う。

A 公共施設個別施設計画を策定以降、計画にのっとり機能の廃止や集約化を進めている。しかし計画どおりに廃止をした施設がある一方、利用者から存続の要望が提出されたため、再検討し修繕したりして、廃止時期を改めた施設もある。そのため、一部の施設について個別施設計画の見直しを進めている。

都計道の用地取得を準備会にお願いしては

A 事業化の際には公管金※で整備する

岡崎 克巳 議員

公明党久喜市議団



Q 都市計画道路の進捗状況及び課題、今後の方針を伺う。

A 久喜東停車場線及び平沼・和戸線は、用地交渉に不測の期間を要しており、また鷲宮産業団地・青毛線については整備計画区間が長く、事業用地の確保には相当の時間を要する見込みであることから、いずれの路線も今後の工事着工の見込みが立っていない。事業用地取得に課題がある。引き続き、関係地権者の皆様への丁寧な説明に努めながら、事業用地取得に取り組み、計画的に整備を進めたい。

Q 用地取得の交渉に多く足を運んで頂きたい。

A 何年か行けない年があり、昨年度は訪問しアプローチできた。何度も行っても感情を損ねると心配をし、慎重になりすぎているということもある。アプローチの仕方について、改めて検討する。

Q 東停と平沼和戸線の地元では土地区画整理準備

会が立ち上がっている。公共施設管理者負担金で用地取得等をお願いする事もできるのではないかと。

A 産業団地の土地区画整理の相談は複数受けている。仮に吉羽地区で事業を進める際には、公共施設管理者負担金を市が土地区画整理施工者にお支払いして、都市計画道路の整備を進めるやり方が良いと考える。



軽自動車税の課税免除について

Q 事業者でナンバープレートの交付を受けた中古軽自動車など、一定の要件を満たし、届け出により商品であって使用しない軽自動車等と確認できた場合には軽自動車税を免除すべきだが。

A 行っている市もある。検討、情報収集する。



公管金(公共施設管理者負担金)

…土地区画整理事業などで整備される幹線道路、公園、河川などの公共施設の用地取得費用や補償費、事務費の一部を、その公共施設の管理者が事業施行者に対して負担するお金。

市長の農地転用に関する 新聞報道について詳細説明を

貴志 信智 議員

無会派



Q 市長が市街化調整区域に自宅を新築する際に、申請を有利にするために事実と異なる申請をしていたとの趣旨で新聞報道があった。実際は自身が役員を務める法人所有のマンションAが生活の拠点であったにも関わらず「実家に住んでいる」として申請をしていたのか。

A 実家とマンションAの2拠点生活をしていました。

Q 公開情報によると、自身が役員を務める法人が所有するマンションAの他に、市長の個人名義でマンションBを保有していた。しかし農地転用申請前に、マンションBの名義を自身が役員を務める法人に移している。農地に自宅を新築する際には、当該農地以外に個人所有の不動産が無い「無資産状態」が求められる。市長の手法を使えば登記上は個人の「無資産状態」をつくれる。この手法は問題ないのか。

A 個人と法人は別人格で、区別されている。

Q 市長として不適切な申請ではないか。

A 2拠点で生活をしていただいていたことの説明が不足していた。誤解を招く表現だったが、問題はない。

小学校体育館にエアコン設置を

Q 気候変動による酷暑でプール授業ですら中止になっている。早期に設置するべきでは。

A まずは検証を行って、検討していきたい。

公共交通の充実を

Q デマンド交通の予約が取れないなど不便が生じている。増便・増台をするべきでは。

A 急なキャンセルの予防や利用時間の分散で、混雑の解消を図っていきたい。



各避難所の収容可能人数をなぜ公表しない？

A 可能な限り受け入れるため公表の必要はない

宮崎 亜希 議員

無会派



Q 危機感を持って頂くためにも、各避難所・避難場所の収容人数をホームページやハザードマップで公表すべき。公表しないことで、結果的に避難所に人が集中し、混乱するリスクがあるのでは。

A 可能な限り受け入れることを基本としている。避難所の開設状況、混雑状況については、防災アプリやホームページなどで情報提供をする。

Q インターネットを使えない方もおられる。また、災害時にネット通信が不安定な場合もあるが。

A どこに避難するかを事前に家族・地域等で考えて決めて頂きたい。市は、その啓発が重要。



徘徊高齢者の早期発見体制を強化すべき

Q 防災無線で捜索を呼びかける件数は減る気配

がないが「オレンジシール」「徘徊高齢者・障がい者探索システム」の登録者数は非常に少ない。必要とする方に届くよう、周知を強化すべき。

A 専門医療機関やオレンジカフェ等ヘチラシの配架を依頼する。また居宅介護支援事業所等に、システムを必要とする方への周知を依頼していく。

Q 説明会や実際に使える体験会を開催しては。

A 委託業者に相談する。しかし、解約はいつでも可能なため、基本的にはまず契約して頂きたい。

各放課後児童クラブの安全対策強化を

Q 定員超過によるケガ、児童同士のトラブル、学習スペースが確保できない等の問題が市内のクラブでどの程度起きていると市は把握しているか。

A 軽微なトラブルやケガの発生状況は一定数報告を受けているが、その要因が定員超過によるものであると判断できるケースはない。

その他の質問 ◇小中学生のSNSトラブルに対応を
◇久喜ストリートフェスティバルの案内表示の強化を

栗橋中央コミセンの安全・代替施設の確保は

A 敷地内にプレハブの設置を検討する

田村 栄子 議員

市民の政治を進める会



Q 栗橋中央コミセンは、新栗橋行政センター集会室が完成するまでは市民活動の拠点として引き続き利用できることになった。しかし老朽化が進み安全確保・危機管理は喫緊の課題である。①耐震化の予定は。②日常点検及び修繕対応は。③地震等の緊急事態に備えた避難誘導體制、マニュアル整備、利用者への安全啓発は。④コミセンの代替施設の確保及び予算確保はどうか。

A ①耐震化は行わない。②職員と管理業務委託者により確認し不具合は修繕対応する。③避難訓練の実施とマニュアルを整備する。④コミセン敷地内にプレハブの設置を検討する。

公共交通の課題と見直しの進捗状況は

Q 栗橋地区は公共交通の空白地域であり、バス等公共交通を望む住民が多い。次の点を伺う。①進捗状況と今後の計画は。②実証運行実験の市民へのPRは。③運転手不足対策はどうするのか。

A ①久喜市地域交通利便増進計画を策定し、運

行ルート便数等再編し、令和9年4月から新運行開始予定。実証運行は南栗橋駅と東鷲宮駅間で通勤通学者を対象に行う。②令和8年度に広報、HPで周知。③消防組合等の定年退職者にはたつきかけられるよう協議している。

マイクロプラスチック環境影響対策は

Q 有害なマイクロプラスチックの発生抑制にプラ製品の自然界への流出を抑える必要がある。市内に散乱したごみの清掃活動も必要ではないか。

A ゴミゼロクリーン運動や環境保全団体が行う河川清掃活動の支援を通じ市民意識向上を図っている。5R*をホームページに掲載中である。



久喜市内に散乱するごみの例

安心安全なまちづくりの推進について

A 防犯カメラ設置を計画的に推進する

園部 茂雄 議員

久喜みらいの会



Q 久喜市では防犯カメラの設置やドライブレコーダー活用による見守り活動を進めてきたが、公園や通学路、住宅地周辺などでは設置が不十分である。近年、住宅への侵入窃盗が多発し、市民の不安が高まる中、防犯カメラの計画的・積極的な設置が必要と考える。そこで、市内の過去5年間の刑法犯認知件数を伺う。

A 市内の刑法犯認知件数は令和2年から6年にかけて増加傾向にある。

Q 刑法犯罪の増加傾向を踏まえ、防犯カメラ設置を推進する基本方針を伺う。

A 市は令和8年度から5年間で公共施設を中心に防犯カメラを整備する方針を策定し、警察要望箇所にも対応していく。

Q 現在設置している防犯カメラの台数、場所、犯罪抑止効果の検証について伺う。

A 現在388台を設置、駅前や公園などに配置。犯罪抑止効果の数値的把握は難しい。

Q 住宅地や生活道路など、市民生活に直結するエリアへの防犯カメラ設置について、方針を伺う。

A 警察の要請に応じて設置を進めていく。

Q 自治会など民間による設置を促進するため、補助制度を求める。

A 個人宅向けの防犯用品補助制度を創設予定で、申請の簡素化も検討中。自治会向け補助制度は現時点で予定していない。

Q 防犯カメラの設置を計画的に、国の補助金等を考慮し推進するべきだが、市長の決意を伺う。

A [市長] 防犯体制の充実のために防犯安全対策の強化ということで早急に図っていく。



5R

…ごみを減らし資源を有効活用するための5つの行動の頭文字をまとめたもの。一般的には、Refuse (リフューズ)、Reduce (リデュース)、Reuse (リユース)、Repair (リペア)、Recycle (リサイクル)。

久喜駅東口開発の将来像を明確に示すべき

A 来年度配置の考え方や必要な都市機能を示す

川内 鴻輝 議員

久喜みらいの会



Q 久喜駅東口開発の基本的な考え方は。

A 令和元年度に検討業務を実施し、都市計画の見直しや中落堀川の上部空間活用を検討後、その結果を都市計画マスタープランに反映した。今年度から立地適正化計画の策定に着手し、駅前環境整備の方向性や誘導すべき都市機能を詳細に検討する。

Q 将来像はいつ頃、どの程度示されるのか。

A 立地適正化計画は今年度から2か年で策定する。来年度の計画案を取りまとめる段階で、配置の考え方や必要な都市機能を示せるよう検討する。

Q 都市計画見直しの評価項目と対象は。

A 路線バスの利用状況・運行頻度、送迎需要、歩行者・自転車通行量、周辺道路の交通量・渋滞等を評価し必要性を検討する。対象は用途地域変更、容積率・^{けんぺい}建蔽率等の形態規制、防火・準防火地域、地区計画等を想定する。

Q 中落堀川の上部空間活用の方針と課題は。

A 検討業務の結果を踏まえ、駅前広場の一部としてバスロータリーやふれあい広場等の配置の可能性を検討している。

Q 整備のイメージやスケジュールが見えない。課題を具体化するべき。

A 技術的に可能なことは確認しているが、都市計画道路の整備や路線バスの増便など交通環境の大きな変化が前提となる。条件が整う適切な時期を見計らい、庁内関係各課や交通事業者と連携して検討する。

Q 費用感と財源の考え方は。

A 現段階では金額提示は困難。整備の方向性を検討した段階で示す。

その他の質問 ◇ペットと共生する街づくりの推進



手話リンク導入は全庁的な問い合わせ対応を

A 当初段階から全庁的な対応を考えている

新井 兼 議員

久喜みらいの会



Q 聴覚障がい者にとって、電話による問い合わせは大きな壁。①聴覚障がい者が、市ホームページ上から手話通訳オペレータに繋ぎ、電話で問い合わせができるサービス「手話リンク」の認識は。②導入した場合の利用対象者数、利用回数、通話料負担の想定、導入時期は。③市職員に対する利用方法や聴覚障がいの研修の充実が必要では。

A ①手話通訳者の派遣要請が不要、事前の利用者登録が不要なため、大変利便性の高いサービス。②約50人が月1回15～20分の利用と想定した場合、通話料5～7万円と費用対効果が高いと評価し、令和8年度の導入に向けて準備していく。③手話リンクを導



出典 (一財) 日本財団電話リレーサービス

入するに当たり、事前に市の内部で共通理解が必要と考えている。

情操教育による子どもの心を育む環境整備を

Q 情操教育は、学校だけではなく、家庭・地域・行政が連携し、社会全体で子どもを育てる環境づくりが不可欠。①情操教育を推進していくにあたり、課題は。②情操教育は、多様な分野と関わるため、総合的に推進していくためには、「(仮称)情操教育推進プロジェクトチーム」のような庁内横断組織の設置が必要では。

A ①小学校へ専門的な知識・技能や卓越した指導力を持つ専科教員の配置が必要だが、小規模校へ十分な配置がされていないことが課題。中学校教員を小学校への兼務発令で対応している。②横断的な取り組みを実効性あるものとするよう、関係各部署との連携を検討していく。

その他の質問 ◇マンホールの安全性向上と資源活用を進めるべき

小学校の体育館にエアコンの早期設置を

A 中学校の検証後に財源を活用し進めたい

樋口 智洋 議員

久喜みらいの会



Q 空調設備整備臨時特例交付金を活用し小学校体育館にエアコンを早期に設置する考えはあるか。

A 現時点で財源は未確定だが、工事の際に最も有利な財源を選択して整備を進める方針。空調設備整備臨時特例交付金の活用には断熱化が必須。最適な仕様を検討するため、まずは中学校エアコンの夏場の稼働状況を最優先で検証し、その結果を踏まえて今後進めたい。

Q 設置と断熱化工事を別年度にし、交付金の上限を有効活用し、エアコン設置を先行できないか。

A 年度を分けることは財源的に有効であり、エアコン設置を優先させる手法は極めて効果的な取り組みだと認識している。

Q 単年度で整備が難しい場合、前期・後期に分けて進めることになると思うが、施設の劣化状況（特に築50年近い1970年代建設の6校）、通気性など各校の状況を含めて検討してもらえないか。

A 1970年代建設の6校は、江面、本町、桜田、

清久、鷲宮、砂原の各小学校体育館である。設置前の設計の中で各体育館を調査し、通気性などの特徴を踏まえて、各校に最適な機器や断熱化の方法を選定し、問題をクリアしていきたい。

災害時・停電時における小中学校の電源確保対策

Q 学校にはポータブル発電機があるが、災害時、電力が不足した場合、どのように対応するのか。

A 市では、民間事業者との応援協定に基づき、大型発電機などの必要な物資を速やかに確保する体制を整えている。中学校体育館には大型発電機用の受電口があり、発電機を接続すればエアコン稼働が可能。災害時の供給体制も確認済み。



中学校体育館の受電口（三相）

新ごみ処理施設にジモティスポット設置を

A 不用品リユース拠点を施設内に設置する

成田 ルミ子 議員

久喜みらいの会



Q 不用品のリユース拠点は、新ごみ処理施設稼働時からおこなうのか。またリユース品の展示場所はどこを予定するか。

A メインエントランス等を使い展示。施設の稼働の切替えが完了したタイミングで事業を行う。

防犯カメラ設置補助金制度の創設をすべき

Q 防犯カメラの設置費用の一部を補助する制度を導入し地域の防犯体制を強化すべきではないか。

A 防犯カメラ等の補助金制度を創設し、防犯安全対策を強化する。

Q 地域コミュニティや団体にも使える制度か。

A 今回は個人宅に設置する防犯対策用品の補助制度を創設する。

Q 公共施設防犯整備方針の令和8年から5年間で50台設置の計画を大幅に増やすべきではないか。

A 公共施設だけではなく犯罪抑止重点地域*への設置も計画している。あくまで整備方針なので

時々状況で変更すべきか検討する。

久喜西口駅前の諸課題を解決するべく予算付けを

Q 鳥害被害が拡大し、現地では市民が爆竹を鳴らし追い払う音も聞こえた。行政による対策ができていない表れだ。今後の対策は。

A 鳥のいる季節に合わせ対応する。また鳥の習性により止まらない木があるため、調査研究する。

Q 久喜駅の東西に設置された公衆トイレはリニューアルすべき。設計の予算計上をすべきだ。

A 東西ともに、建築後、35年経過している。長寿命化の修繕工事を考えていたが、建替えか修繕か予算面を含め検討する。

その他の質問

◇久喜駅西口の
渋滞問題など



久喜駅西口の公衆トイレ



犯罪抑止重点地域

…特定の種類の犯罪が多発しているため、警察や自治体が重点的に防犯対策を講じる地域を指す。これらの地域では、防犯カメラの設置やパトロールの強化などが行われる。

久喜市版「一人一花運動」を実現できないか

A どのようなことができるか、ぜひ検討したい

大谷 和子 議員

久喜みらいの会



Q 会派視察を行った福岡市で、行政、市民、企業が一体となった花で共創のまちづくりを目指していた。一人一人が一花育てて、公園や歩道、会社、自宅など、ありとあらゆる場所を花でいっぱいにする。この施策は目指すべき市民参加型のまちづくりの方向性を示すものとする。久喜市版「一人一花運動」に取り組めないか伺う。

A 福岡市には既に連絡を取り、資料を請求している。担当者からも話を聞いて、どのようなことができるかをぜひ検討したいと考えている。

Q 既に公共の場所で活動している団体と、スポンサーになる企業をマッチングし、パイロットケースをつくりながら制度設計をしていくべきだが。

A 制度設計等を考える上で、既に活動をしている団体や、公園の花植えに協力いただいている企業の意見を聞きながら検討することが有効だと考えているので、まずはアプローチしていきたい。

Q 市長にまずは、パイロットケースのスポンサーをトップセールスで見つけてきて欲しいが。

A [市長] 花いっぱいのもちづくりに反対する人はいないと思う。協力企業を広げていくことに関しては、トップセールスをやらせていただきたい。

Q 福岡市の「一人一花のロゴ」も制度設計さえすれば使用可能とのこと。北九州市や熊本市、能登市などで色や花の種類を変えて使用されている。ぜひ、このロゴの使用も検討していただきたい。

A ロゴの使用についても検討したい。



福岡市役所前の一企業花壇

その他の質問 ◇施策の周知に「広報紙」など受動的な手段ばかりでなく、イベント等へのブース出展等「アウトリーチ」の手法の強化を急ぐべき

市内循環バス見直しでデマンド交通に変更は

A 現在の運行エリアを維持する方向で検討する

川辺 美信 議員

市民の政治を進める会



Q 現在策定中の、久喜市地域公共交通利便増進実施計画（以下、計画）のスケジュールは。

A パブリックコメントを実施し、来年3月の地域公共交通会議を経て5月頃に国の承認を目指す。

Q 高齢者や障がい者など、交通弱者の視点をどのように計画に組み込む方針なのか。

A 誰もが分かりやすく使いやすい公共交通への改善を基本に、バス停の待合環境整備や公共交通マップの作成などを実施していく。

Q 新規路線（南栗橋駅～東鷲宮駅）は朝と夕の運行時間帯であり、昼間の買い物や通院のニーズに対応できないが市の考え方は。

A 目的地や時間帯に応じて、デマンド交通やふれあいタクシーを選択していただきたい。

Q 久喜駅西口のバス停に屋根を設置すべきでは。

A まちづくりの検討に併せ待合環境を改善する。

Q まちづくりとなると何年先になるのか。

A 現時点では何年先とは申し上げられない。

要望 雨天時には駅ビルの中で待っている乗客が多い。バス停に屋根を造っていただきたい。

公契約条例の制定について

Q 公契約条例は適正な賃金・ダンピング防止・地域経済の活性化につながる。久喜市として条例制定に向けた検討を行ってきたのか。

A 国が新たな法律の方針を示していない中では、動向を見定めるべきであり検討は行っていない。

その他の質問 ◇重症心身障害児者及び医療的ケア児者の生涯学習と地域共生の推進に向けて◇市民を対象としたイベントにおける公共施設使用料の減免制度の拡充について



屋根のない久喜駅西口バス停

リチウム充電電池と小型家電 拠点回収に転換を求める

猪股 和雄 議員

市民の政治を進める会



Q リチウム充電電池の回収方法は、現在はホームページなどで「なるべく販売店の店頭回収で」としているが、電気店ではその店で販売したもの以外は引き取らない。①基本的に市が回収することを明確にすべきだ。②リチウム充電電池は「有害ごみ」、小型家電は「燃やせないごみ」でわかりにくい。公共施設での「拠点回収」に転換を求める。

A ①ホームページのリチウム電池の回収方法の説明や「ごみ分別アプリ」の表記は見直していく。②今後、ごみ集積所でのステーション回収と拠点回収を併用していく。充電電池内蔵の小型家電も「有害ごみ」として回収するよう周知していく。



埼玉県リチウムイオン電池ポスター

Q リチウム充電電池の拠点回収はどこで、いつから開始するか。

A 菖蒲行政センターで今年度中に開始したい。

Q 拠点回収の場所が菖蒲センターの1か所だけというのは現実的でない。少なくとも市役所と各行政センターに回収ボックスを設置すべきだ。

A 来年12月に本庁舎と行政センターとしたい。
〔要望〕 なぜ1年間は1か所だけなのか。すでに県内20市町で拠点回収をやっているのだから、人口15万の久喜市でできないはずはない。今年度中に、本庁舎と行政センターに回収ボックスを置いて拠点回収を開始すべきだ。やらない理由を並べるより、できる方法を考えましょうよ。

その他の質問 ◇市職員のハラスメント防止条例の制定を◇新ごみ処理施設、余熱利用施設のフロア等の導線に点字ブロック設置拡大を◇交通安全施設の路面標示の補修を◇市役所本庁舎増築棟の建設は市民参加で計画策定を進めるべき

久喜市議会ハラスメント防止条例 を制定しました



議員は市民の代表として市政に責任を持ち、住民全体の福祉向上に努める義務があります。ハラスメントは人権を侵害し業務や市民サービスに悪影響を及ぼし、社会的信頼を失わせる行為です。

久喜市議会は、人権尊重と相互信頼を基盤に、議員によるハラスメントの根絶と防止を図り、市民から信頼される議会を実現するため、ハラスメント防止条例を制定しました。

主な内容

議員は、ハラスメントが個人の尊厳や職場環境を損なうことを理解し、議員同士や職員と対等な立場で、人格を尊重した行動をとらなければならない。

自身がハラスメントを疑われた場合は、誠実に事実解明に努め、責任を明確にしなければならない。

■詳しい内容は、市議会ホームページをご覧ください



委員会 分科会 の YouTube 配信 はじめました!

11月定例会議から、本会議のインターネット中継に加え、常任委員会・分科会をYouTubeでライブ配信しています。

委員会では専門性を持って本会議よりも細かく質疑されますので、ぜひご覧ください。チャンネル登録もお願いいたします!



■委員会で見られるもの



▲YouTube

- ▶ 総務常任委員会・分科会
- ▶ 福祉健康常任委員会・分科会
- ▶ 建設上下水道常任委員会・分科会
- ▶ 教育環境常任委員会・分科会

■本会議で見られるもの

- ▶ 議案の上程
- ▶ 市政に対する質問（一般質問）
- ▶ 議案質疑 ▶ 討論・採決
- ▶ 市長の施政方針演説 ▶ 代表質問



▲本会議中継



各常任委員会 行政視察

建設上下水道常任委員会

10月6日奈良県広域水道企業団 「広域水道企業団の運営」

人口減少・老朽化等課題に対応するため、奈良市と葛城市を除く広域水道企業団を令和6年11月に設立し、事業を開始。平成28年の検討開始から段階的に協議を重ね、料金統一（原則引き下げ、大淀町除く）や施設を14から8施設に統合、技術者確保・育成を推進し、広域化のスケールメリットを追求。料金は5年ごとに総括原価方式で見直し、大幅上昇を抑制している。



▲奈良県広域水道企業団にて

10月7日 大阪市堺市 「パークマネジメント計画」

「堺市緑の基本計画」に基づき、行政主導からの脱却と利用者目線・経営的視点を重視したパークマネジメント計画（R3～約10年間）を策定。公園を「まちの魅力創出の拠点」と位置づけ、市民・企業・NPOとの協働を推進。ネーミングライツ等で財源を確保し、大規模公園での民間連携強化や、小規模公園での地域団体によるきめ細かな運営を通じて、公園の多面的機能強化と持続可能な管理運営を目指している。

10月8日 京都市亀岡市 「既存集落まちづくり区域制度」

市街化調整区域の農業振興・自然保全を前提に、地域の活力維持とコミュニティ活性化を目指す制度。特徴は、地域住民の合意形成と柔軟な運用。指定区

域内の建築物用途を、地域関係者と行政が事前検討・公開し、基準に合致すれば誰でも建築可能となる。これは従来の宅地開発と異なり、新たなまちづくりの取り組みといえる。

福祉健康常任委員会

10月15日 福井県越前市 「家庭支援ネットワークコンサート」

越前市社協・野尻医院・一陽の民間3者が中心となり、市と連携して「おむすび亭えちぜん」を設立。家庭内の課題を「家族全体」として捉え、行政の縦割りを超えて包括的に支援するネットワーク。特に民間専門職の提案から始まり、行政がその柔軟性を尊重して協働する体制を築いた点が特徴で、これにより地域資源の活用や入札不調リスクの軽減といった行政側のメリットも生み出していた。

10月16日 富山県富山市 「富山型デイサービス」

富山型デイサービスは、1993年に惣万佳代子氏が設立した「このゆびと一まれ」を原点とする、年齢や障がいの有無を問わず誰でも利用できる「共生型」サービス。民家を活用した小規模な施設で、多世代・多背景の人々が交流することで、高齢者の活性化、障がい者の居場所確保、子どもの教育的効果など多面的な効用を生んでいて、行政特区や独自の支援により、地域福祉の拠点として機能し、全国の共生型福祉のモデルとして注目されている。

「まちなか総合ケアセンター」

富山市はコンパクトなまちづくりの一環として、中心市街地にPPPを活用し、公共施設「富山市まちなか総合ケアセンター」と民間施設からなる「総

曲輪レガートスクエア」を2017年に開設。医療・福祉・子育て支援を一体的に行う都市型地域包括ケアの拠点で、こども発達支援、在宅医療、病児保育、産後ケアなど、切れ目のない支援を多世代に提供する先進的な取り組みであり、官民連携による地域活性化とコミュニティ推進の機能も担っていた。



▲まちなか総合ケアセンターを見学

総務常任委員会

11月4日 富山県魚津市 「書かない窓口」

富山県魚津市は、マイナカード交付率の低さを背景に、市民の利便性向上と窓口混雑解消のため、「書かない窓口」を令和5年1月に導入。マイナカードで27の手続きがタブレット署名のみで完了し、市民満足度は98%と好評。しかし住基システムと未連動による二重入力、対応手続きの中途半端さ、システム読み込みの遅さが課題とされていた。

今後は「行かない、書かない、待たない」市役所を目指し、基幹システムの連携による抜本的なシステム構築が不可欠とされている。久喜市でDX化を進める上で大いに参考となった。



▲魚津市にて説明を受ける

11月5日 石川県内灘町 「能登半島地震の災害復興」

能登半島地震で大規模な液状化が発生。町議会は特別委員会を立ち上げ、議員13名中12名が復興に携わる異例の体制で対応した。14年前の栗橋地区での液状化経験と比較すると、国の支援速度は向上していると感じたが、多くの被災者が仮設住宅の提供を待っている現状であると推察した。

教育環境常任委員会

11月6日 岩手県花巻市 「スマート農業の取り組み」

スマート農業は、平坦な水田地帯の大規模稲作法人を中心に、RTK-GNSS基地局整備と自動運転農機導入により約10年前から推進。市は基地局を公共インフラとして提供。その後、仮想基準点配信サービス活用で中山間地域でも測位可能に。補助率1/3、上限100万円の補助事業でドローン等の導入を支援し、人材育成として実演会を実施。しかし、中山間地域の農地集約率の低さから、導入は限定的。果樹・園芸への適用や気象センサー等のデータ活用が課題。全16件の地域計画はJAと強固に連携し策定済みだが、担い手の高齢化・後継者不足が深刻で、ノウハウ継承が今後の重要課題であった。

11月7日 宮城県大崎市 「義務教育学校・大崎市立古川西小中学校」

宮城県大崎市は学校統合を進め、令和5年4月に古川西小中学校を義務教育学校として開校。脳科学的知見に基づき4-3-2制を採用し、「中1ギャップ」を緩和。教科担任制や異学年交流を導入し、地域資源活用カリキュラム「西学」や国際交流を推進。

運営面ではスクールバスの柔

軟運行を整備。教職員の加配縮小の課題には大学生ボランティア等で補完。制服は当初、私服が検討されたが保護者の強い意見を受け制服を採用。校舎の男女共用トイレ設置など、性的マイノリティへの配慮も見られた。



▲義務教育学校で説明を受ける



▲校舎の男女共用トイレ

所管事務調査

総務常任委員会

10月22日「市が運行する公共交通の課題と見直しの方向」

コミュニティバス（全系統）やデマンド交通「くきまる」（菖蒲・栗橋・鷺宮地区）、久喜地区で運行されている「くきふれあいタクシー」について詳細な説明を受けたほか、令和9年4月から南栗橋駅～久喜駅東口間で実施される、コミュニティバスの空白地域解消に向けた実証実験についても説明を受け、質疑を行った。

「本庁舎増築棟の進捗状況」

現在検討中の本庁舎増築棟について、概要、検討委員会の設置及び組織図、整備に向けたスケジュールについて説明を受けた。建設予定地の選定にはそれぞれ課題があり、今後慎重に検討していくことを確認した。

12月11日「久喜総合文化会館、菖蒲文化会館、栗橋文化会館の指定管理について」

指定管理者制度を導入している3つの文化会館について、施設の概要、事業者概要、主な事業実績などの説明を受けた後、久喜総合文化会館の現地視察を行った。

福祉健康常任委員会

11月5日「国民健康保険税滞納世帯の取扱い」

国民健康保険証の一体化に伴い、国保税滞納者への措置は「特別療養費の支給変更事前通知」に移行される。本市は機械的な移行を避け、年3回の文書と電話での催告・相談を通じて納付を促す方針であることを確認した。

教育環境常任委員会

11月11日「アレルギー対応食の誤食対応」

令和7年度に発生した、誤食の5件事案を受け、アレルギー食事故の防止に向けた取り組みを確認した。チェック体制の「見える化」について進めるとともに、万一他校で同様の事案が発生した場合に速やかな情報共有が図られるよう要請した。

12月16日「クビアカツヤカミキリによる被害状況と今後の対応について」

市内の桜のクビアカツヤカミキリの被害状況と対応の説明を受け、詳細な被害状況と伐採された樹の本数などの資料請求を行った。

建設上下水道常任委員会

12月15日「道路等における器物破損事故と損害賠償保険」

令和7年度に発生した主な道路賠償事案について、事故の概要、被害状況、過失割合等の説明を受け、今後の対応方針や懸念事項について質疑を行った。



くき市議会だよりは、「久喜市音訳の会コスモスライブラリー」のご協力により、視覚障がいのある方等にデージー版（音訳版CD）を発行しております。送付を希望される方は障がい者福祉課にご連絡ください。

表紙の題字は中央幼稚園の皆さんにご協力いただきました



久喜市立中央幼稚園は、「遊びは学び」をモットーとして、のびのびとした環境の中で子どもたちの生きる力の基礎を育てています。広い園庭で子どもたちが元気いっぱい走り回ったり、鉄棒やぶらんこで遊んだり。保育室では、大きな声で歌を歌ったり、ごっこ遊びなどで楽しんだりもしています。いつも園児たちの輝く笑顔や歓声があふれています。

輝く!小中学生スポーツコーニャー グリーンファルコンズ編

前進あるのみ!みんなでトライを決めるのニャー!



安全が最優先、子どもたちの笑顔いっぱい

ラグビースクールグリーンファルコンズは、幼稚園生から中学生まで約60名が所属するラグビーチームです。

Aカテゴリー（小学校5・6年生）ヘッドコーチの吉村さんは「一番気を付けているのは安全。ラグビーは相手へのコンタクトが許されたスポーツ。だからこそ相手へのリスペクトを持って欲しい」と語



ります。

チームの練習は月ごとにテーマを決めて行われます。現在のテーマは「コミュニケーション」。自分の意見を伝えること、相手の考えを聞くこと、そして輪に入れない子をつくらないことを目指しているそうです。

試合が終わったら、お互いを称える

Aカテゴリーの吉村主将（小学6年）は「試合では負けたくないから強くあたる。でも、試合が終わったらお互いに称え合って、仲良くなる。友達も増えた」と目を輝かせます。

取材に伺った日も、学年の枠を超えて仲の良い姿が印象的でした。力強い前進を続けるグリーンファルコンズから目が離せません。



議会を傍聴しませんか

2月定例会議(予定)

1月27日 本会議(初日) 2月17日 議案質疑・委員会
2月8日 代表質問 19・20・24・25日 常任委員会
2月9・10・12・13日 一般質問 3月3日 委員会・本会議(最終日)



議会だよりの
キャラクター
「ギ飼猫」の

きくべーです



編集後記

厳しい寒さが続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。今号でも、市民の皆様に分かりやすくお届けすることを第一に広報委員会一同、紙面構成に知恵を絞りました。市議会は、皆様の声を市政に届ける大切な場所です。この「議会だより」が市議会を身近に感じていただくきっかけになればと思っています。(奈良)

私たちが取材・編集しています(広報委員会)



◎委員長 ○副委員長

樋口	貴志	奈良	上條	◎大谷	○川辺	成田	杉野	宮崎	山田
智洋	信智	政宏	哲弘	和子	美信	ルミ子	修	亜希	正義